

秋の風物詩

八朔祭り 大名行列



「しゃん しゃん
チャリン チャリン」

拍子木と金棒の音が
澄みきった青空に

響き渡り

「ア、ヨイヤマカ ヨイ」

奴さんたちの

威勢のいい掛け声が
城下町の町並みに
こだましました。

九月一日、市の一大イベントで郡内
地方の秋の風物詩「八朔祭り」大名行列
が盛大に行われました。

本年の出演者は一、二〇〇名。関係
自治会の皆さんを始め、消防団、小中
学生、都留文大生、地元企業、屋台保
存会、赤熊保存会、保育園・幼稚園児、
伝統芸能継承団体の皆さんなど多くの
方々が出演しました。

当日はあいにくの天気でしたが、小
雨の降る中、道中唄が流れた後、賄い
方の「おたーちー」の合図で大名行列が
谷村の町に繰り出し、道中では、ユー
モラスな踊りを披露してくれた奴さん
や、都留文科大学生の出演による可憐
なお姫様、腰元による壮大な行列が行
われました。

また、前夜祭では、優美で迫力ある

豪華な飾り幕に彩られた、四台の屋台
の上で、この祭りに合せ何ヶ月も前か
ら稽古を重ねた三味線や太鼓など生演
奏でのお囃子が披露され、江戸時代の
祭りの賑わいを感じさせ、市内外から
訪れた観光客からたくさん声援がと
んでいました。

メイン会場の谷村第一小学校校庭で
は、勇壮な太鼓を皮切りに幼稚園児、
毛槍保存会、よきこいソーラン扇華、
連合婦人会の舞や踊り、都留大名連に
よる阿波踊りが披露され、大名行列が
会場に姿を現すと、祭りもクライマッ
クスを迎え、あたりが闇に包まれた頃、
祭りのファイナーレを飾る花火が祭りで
賑わう谷村の空に、行く夏を惜しむか
のように色鮮やかに打ち上がりました。

